

総務厚生常任委員会 12月7日

具体的な計画を着実に実行すべき

白鷹町振興実施計画について説明を受けた。

【目的】

基本計画を受けて具体的に実施する事業の内容を示すもので、まちづくりを計画的かつ効果的に推進するために策定する。

【計画期間】

令和4年度から6年度までの3カ年。

【基本方針】

コンパクト・プラス・ネットワークを基本に、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱とする。

質疑

買い物環境支援

委員

買い物環境支援事業について、

今後どういう形で支援していくのか。

【当局】

移動販売の対応については、5年前から実証実験をしてきた。買い物難民の問題をどうしていくかは、喫緊の課題であり検討していきたい。

【委員】

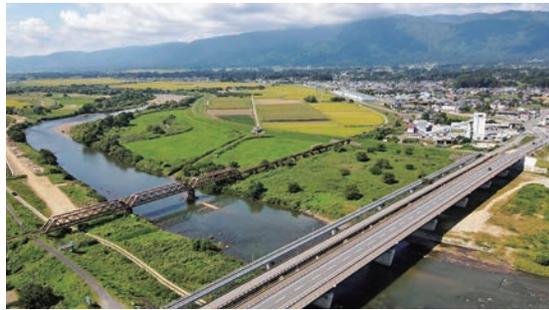
東部工業団地整備の拡張整備について、現在新規参入希望の企業はあるのか。

【当局】

これまではオーダーメイド型で来たが、相談に向けて用地を持つておく必要がある。

【委員】

白鷹中学校の体育館とグラウンドの整備についてどう



考えているのか。

【町長】

体育館は、床がささくれ立って危険な部分もあるため検討している。グラウンドは狭いが拡張できない。グラウンドからの雨水処理についてもこれから総合的に検討していきたい。

町民が利用しやすい交通手段は何か

町内循環バス等実証実験の実施状況について説明を受けた。

【概要】

令和3年7月1日より実証実験として実施した白鷹町立病院から公立置賜総合病院間(経由地なしの直行便)の町外延伸に加え、町内循環バス(荒砥・鮎貝)の運行を実施。運行日数は82日。

【利用実績】

①循環バス

* 述べ利用人数 52件

* 1日平均利用件数 0・63人

②町外延伸

* 述べ利用人数 57件

* 1日平均利用件数 0・70人

【考察及び今後の対応】

町内循環バス及び町外延伸とも、1日平均

均利用件数が1人を下回る状況であった。利用者には、バス停までの移動に負担を感じているようである。

町内の移動は現行のデマンドタクシーでカバーできると判断し、今後は現行のデマンドタクシーや町外延伸便の利便性を高めることを検討していく。

【当局】

デマンドタクシーをうまく活用していきたい。町外延伸についてはニーズにお応えするために、いろいろ検討している。続けていきたいが費用対効果もある。ぜひご意見をお寄せいただきたい。

質疑

延伸便の継続は

【委員】

公立置賜総合病院までの延伸便は、どの地区の方が多く利用されていたのか。

【当局】

多かったのは東根地区の方であった。

【委員】

継続的に実施していく方向でよいのか。

